

令和5年度 都立富士森高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・校内の短歌コンテストの開催 ・「話し合うこと」の指導に関する言語活動に関する科内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会に向けたプレゼンテーション・コンテストの実施 ・大学等主催の小論文コンテストへの応募 ・オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方 ・考え方を働かせた数学的活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会でESAT-Jの問題分析会を実施 ・各科目、学期に2回パフォーマンステストを実施 ・CAN-DOリストを見直し、8月HPで公開 ・全ての授業で開始1分間「話すこと」についての活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月オーストラリアの高校とオンライン交流会の実施 ・オンライン英会話の取組を評価するためのルーブリックの開発・活用 ・TGG後に体験に基づくスピーチコンテストの実施
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストの問題分析会を実施 ・考察・推論したことや結論についてのパフォーマンステストを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学研究室訪問で、探究の方法やレポートのまとめ方について学習 ・「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題解決」につなげる実習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定 ・民間補助教材を導入し、社会課題の解決を題材とした実習教材を導入 ・情報Ⅰ各単元の最終課題で、グループ(協働学習)による探究的な実習を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報Ⅱで民間のプログラミングコンテスト(ハッカソン)に参加 ・プログラミングやデータ活用などの分野で活躍する専門家を招聘し、情報で学ぶ技術の実社会での活用について学習